

まちのお宝みいつけた! 地図遊び◆自転車さんぽ26

Thinkサイクリング山口◆紅葉の自転車さんぽ2022

- 主催:Thinkサイクリング山口
- 特別後援:公益財団法人山口きらめき財団
- 後援:スポーツフィールドやまぐち推進協議会
- 運営協力:いわくに研究会

■実施概要(大逆転ルールと三賞):地図を読み作戦を練って、エリア内26箇所のTPを任意に巡り、お宝現場クイズの謎を解き、オンリートレジャーを推理しながら8箇所を選ぶ。集計後判明する最少選択TP的中優秀者をエクセレント賞(Ex賞)、二番目少数TP的中優秀者をソリッド賞(So賞)、そして頑張ったのに残念な成績の人をブービー賞(Bo賞)として三賞表彰を行う。交通ルールを遵守出来るように工夫した、逆転の発想の変則オリエンテーリング「トレジャーハント26」は、大逆転ルールのため、年齢性別車種不問で誰にでも表彰のチャンスがある。

- ★スケジュール(共通)※制限時間:2時間分以上3時間以内
- 09:30 受付(集金、出走サイン)(※会場で異なる場合があります。)
 - 09:40 ブリーフィング(ルール説明)
 - 10:00 スタート(作戦会議～任意スタート)(※昼食任意)
 - ※TP巡り(逆回り、ショートカット可)～解答(三択クイズ&時刻記入)
 - 12:00 フィニッシュ受付開始
 - 13:00 フィニッシュ制限時刻(以降ペナルティ発生)
 - 13:30 失格時刻(以降集計対象外)
 - 14:00 集計・発表・表彰式

【基本ルール】…トレジャーマップの推奨コースやTPヒントを頼りに、問題解答用紙のTPクイズの答えを探しながら、エリア内26箇所のTPから8箇所以上を巡り、最少選択TPを当てる、変則オリエンテーリング。トレジャーマップは国土地理院2万5千分の1地形図のA4大が基本。但し、会場によって異なる場合もある。TPには会場毎のローカルテーマもある。推奨コースは15～25kmで、2～4時間程度で走れる内容。正確に辿る必要はなくショートカットもOK。規定数以上の余剰TPへ行ってもOK。TP訪問証明は三択方式の現場クイズ。順位決定は「①訪問者数」「②正解数・余剰TP数」「③所要時間」の3要素。スタートは任意による「ブリーフィング&ゴー」、フィニッシュは「帰着チェック」。制限時間は2時間以上3時間以内が目安(会場毎に設定)。タイムオーバー30分まではペナルティ加算、31分以上は失格。

- 参加費:☆ソロ1,500円(高校生以上) ☆グループ2,500円(3名まで) ☆ファミリー2,500円(小中学生含む4名まで)

☆追加1人500円 ※マップ&問題、保険代、他/中高生はグループ走行、小学生は保護者同伴のこと!

- 申込方法:参加心得や誓約事項を理解した上で、ホームページより**Web申込**で実施日**1週間前まで**にお願いします。(参加費:当日集金/参加案内:実施日の3日前までにメールにて送付)
- ※参加心得・持ち物、誓約事項、および解答方法はホームページをご覧ください。 <http://www.bike-joy.com/TCY2022Autumn.htm>

…会場・日程一覧…

2022岩国◆自転車さんぽ (TPテーマ:錦川26珍)
11月13日(日)午前9時30分【11月6日(日)締切/定員10組20名】
 岩国市横山/紅葉谷公園集合(無料P)
 (最寄駅:JR岩徳線川西駅 最寄インター:山陽自動車道岩国IC)
 ※レンタサイクル:0827-28-6600/岩国市観光交流所「本家松がね」
 ※後援・協力:岩国市観光協会

THT26◆自転車さんぽ宇部2022 (TPテーマ:彫刻と産業)
11月19日(土)午前9時30分【11月12日(土)締切/定員15組30名】
 宇部市恩田町/恩田運動公園プール前集合(無料P)
 (最寄駅:JR宇部線東新川駅 最寄インター:山口宇部道路宇部南IC)
 ※レンタサイクル:ナシ
 ※後援・協力:宇部市スポーツコミッション、宇部市体育協会

自転車さんぽ◆いろいろ長門2022 (TPテーマ:Mocリターンズ)
11月20日(日)午前9時30分【11月13日(日)締切/定員10組20名】
 長門市仙崎/青海島共和国集合(無料P)
 (最寄駅:JR山陰線長門市駅 最寄インター:中小郡萩道路絵堂IC)
 ※レンタサイクル:0837-26-0708/道の駅センザキッチン(長門市観光案内所)
 ※後援・協力:長門市観光コンベンション協会、廃校再生サミット/山口・青海島共和国

自転車さんぽ◆時めぐり萩2022 (TPテーマ:Mocリターンズ)
11月27日(日)午前9時30分【11月20日(日)締切/定員10組20名】
 萩市堀内/萩城址二の丸南門前集合(無料P)
 (最寄駅:JR山陰線玉江駅 最寄インター:小郡萩道路絵堂IC)
 ※レンタサイクル:0838-22-2914/スマイル貸し自転車
 ※後援・協力:萩市観光協会、城跡ながお

THT26◆学習トレジャー山口2022 (TPテーマ:道路標識)
12月4日(日)午前10時【11月27日(日)締切/定員15組30名】
 山口市滝町/旧山口藩庁門集合(無料P)
 (最寄駅:JR山口線山口駅 最寄インター:中国自動車道湯田温泉SIC)
 ※レンタサイクル:083-901-0150/湯田温泉観光案内所



「Thinkサイクリング山口」について (設立趣意書より)

皆様は普段より自転車のある生活に関心を寄せてられていると思います。その移動や趣味の道具、「自転車」に乗って楽しむことを表す「サイクリング」に相当する日本語をご存じでしょうか? 国際自転車競技連盟(UCI)のルールブックには「サイクリングとは、レースを含むスポーツサイクリング全般」とありますが、日本では見当たりません。工業製品としての「自転車/ハード」、それで移動する「自転車走行空間/インフラ」、その使い方としての「自転車利活用/ソフト」、さらに利用者のスキルを問う「自転車乗操心得/ハート」などの自転車多様性四要素。そして平成になって歩道走行問題が再燃した際に「自転車には、歩行的利用と自動車の利用の二面性がある」と警察が見解を出したように、右図のような多様性の中の二面性が令和の自転車ブームで炙り出されたように感じています。

自動車より小回りが効き、歩くより広範囲に移動できる「自転車」の利活用を考える時に、『日本の自転車走行環境の実情』が浮上し、議論が先に進まない場面が多々あります。その『日本の実情』は、定まらないインフラ整備、手付かずのソフトの標準化、他人任せのハートの啓蒙活動など、昭和の第一次サイクリングブームから潜在する「サイクリングの曖昧な法的根拠」という課題に、コロナ禍で再認識したハードの供給体制の空洞化も含んだもので、「サイクリング」が縦割り行政の犠牲になっている証左と思われまます。そう言った、多様性の中の二面性を踏まえ、「自転車のある生活」に多角的に取り組むため、ユーザー+ショップ+地域が三位一体となった「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」を標榜する団体として「Thinkサイクリング山口」を立ち上げたところです。「春需で情報発信」と「秋需で人材交流」を両翼とし、この秋企画から活動を始めたところで、次の春企画でより多くの人に参画して頂ける「自転車月間スクールの」具体化を考えています。

※興味のある方は右記ホームページをご覧ください。 ⇒ <http://www.bike-joy.com/TCY22-23.htm>

《紅葉の自転車さんぽ2022事務局》 〒740-0044 岩国市通津 1951-10 いわくに研究会内

Tel:090-5573-9372(イベント専用) Fax:03-6368-4661(インターネット受信) E-mail:bikejoyq@mbr.nifty.com